



平成27年10月28日

各位

上場会社名 株式会社 ヤマダ電機
 代表者 代表取締役社長 山田 昇
 (コード番号 9831)
 問合せ先責任者 経営企画室部長 山田 寿
 (TEL 027-345-8181)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	823,000	10,120	14,900	6,400	8.04
今回修正予想(B)	804,700	20,700	24,900	12,600	15.98
増減額(B-A)	△18,300	10,580	10,000	6,200	
増減率(%)	△2.2	104.5	67.1	96.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	833,084	5,762	12,111	4,005	4.78

修正の理由

平成28年3月期第2四半期連結累計期間において、当社グループは、市場環境に対応すべく、少子高齢化・人口減・ネット社会等の社会ニーズの変化を背景に、6つの経営構造改革(「暮らしのサポートサービス」の展開、「スマートハウス」「リフォーム」ソリューションの推進、「環境(買取からリユース・リサイクル)」ソリューションの推進、店舗効率向上改革、SPA商品「ハープリラックス」シリーズの開発推進、人事制度改革の推進)をテーマに数年来の取り組みを推進してまいりました。

これら構造改革の各テーマを横断的に実行し、営業面においては販売及び人員配置の最適化・最大化を図れたことで売上総利益率が大幅に改善、各種販売管理費も計画に対し大幅な削減が図れたことで前年を下回りました。

以上の結果、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が予想を上回る見込みとなりました。

なお、売上高については、前期第2四半期実績において、平成26年3月31日までの消費増税前の駆け込みに伴う受注売上の引き渡しの平成26年4月1日以降へずれ込み及び連結子会社の会計期間(個別は4月1日から翌年3月末日、連結子会社は3月1日から翌年2月末日)の違いが特殊要因として発生しており、売上高前年比が減少しておりますのでご注意ください。

平成28年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)及び平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年11月5日の発表を予定しております。

※ 上記に記載した予想数値及び記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上